



環境への取り組み

当社では、環境負荷の軽減は事業活動の持続的発展に不可欠なものと考えています。そのために、環境マネジメントシステム等を活用し、省エネルギー、地球温暖化防止、産業廃棄物削減等に全社を挙げ取り組んでいます。

事業活動における環境配慮への取り組み

① 省エネルギー



■ エネルギー使用量(原油千kl) ●— エネルギー原単位(kl/t)

2012年度のエネルギー原単位は0.1808で前年度比101.2%となり、1.2%増加となりました。

生産量減少の中、運転条件見直し、電動機器の小型化など省エネルギー活動に取り組みましたが、ボイラーや冷却設備など定常運転が必要な設備があり、大幅なエネルギー削減には至らなかったためと考えられます。

② CO₂排出量の削減



■ CO₂排出量(千t) ●— CO₂原単位(t/t)

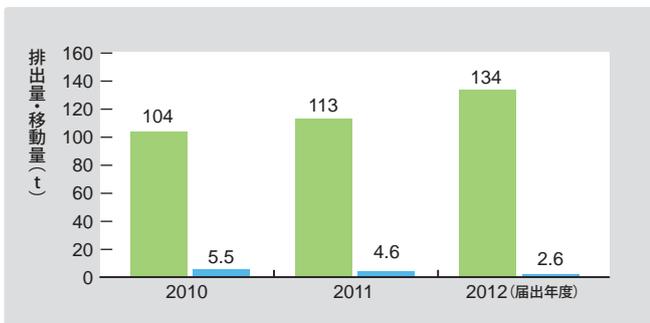
先に述べたとおり省エネ活動を進めましたが、化石燃料の削減があまり進まずCO₂排出原単位は増加となりました。

今後とも総合的なエネルギー効率の改善を行いCO₂排出削減に努めます。



環境への取り組み

PRTR対象物質の排出・移動量

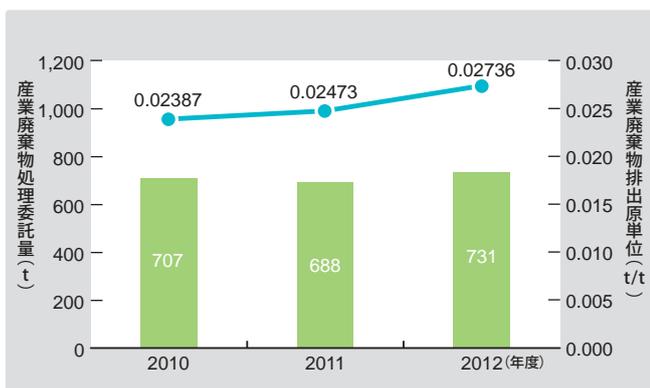


■ 排出量 (t) ■ 移動量 (t)

2012年度のPRTR対象物質排出量は、21t程度増加しました。溶剤を取扱う工場で生産量が増加したためと考えられます。

大気放出量を抑えるべく検討を続けてまいります。

産業廃棄物処理委託量



■ 産業廃棄物処理委託量 (t) ● 産業廃棄物排出原単位 (t/t)

2012年度の産業廃棄物排出原単位は0.02736となり、前年度に対し10%程度増加しました。

生産量減少により定期的な産業廃棄物は減少したと考えられますが、清掃やメンテナンス、設備工事など不定期に発生する産業廃棄物があり、産業廃棄物原単位が増加しました。



コラム

物流の省エネ

当社はタンクローリーを使用しており、省エネタイプに更新しました。

積載重量が小さいときは後輪2軸のうち、1軸が引き上げられ、タイヤ転がり抵抗が小さくなることで燃費の向上を図るものです。

今後も物流の省エネに取り組んでまいります。

